

特定非営利活動法人 金融知力普及協会

2011 年度事業報告書

2012 年 5 月



2011 年度事業報告

2011 年 4 月 1 日から 2012 年 3 月 31 日まで

2011 年度金融知力普及協会活動の通信簿

	教育活動	インストラクター	イベント	コンテンツ	財務運営
内容	通信教育 講師派遣 検定試験等	インストラクター制度の充実	キッズマーケットキャンプ [®] エコノミクス甲子園等	従来コンテンツの整備、 新規コンテンツの拡充 等	事務局運営についての 財務状況
数値 実績	通信講座:162 セミナー参加:327 検定試験:170	インストラクター増:34 インストラクター減:214 インストラクター総数:1221	キッズ:30 エコ甲:1294	アプリユーザー:928 新規コンテンツ:3	赤字幅改善:500万円
評価	△	△	○	○	△
11年度 概要	受講者、受験者は前年 度並みであり、増加に はつながらなかった。	教育指定校が活動を増 加しているものの、現 存のインストラクター向 けの施策は最低限。	各イベントはいずれも非 常に盛り上がり、メデ ィアでの露出も大きか った。	1)アンドロイドアプリ 2)インストラクター フォローアップセミナー 3)お小遣セミナー	年間で1000万円の赤字 決算となった。赤字は 克服できていないもの の500万円の改善を達 成できた。
12年度 戦略	出来るだけ低コストでの 運営を心がける。	インストラクターの活躍の場 を増やす。紹介のホー ムページを立ち上げる。	エコノミクス甲子園は新 規地区5、+ネット大会 の実施を目標とする。	新コンテンツとしてTCG を開発する。	収支均衡を目標にす る。

I. 事業の経過および成果（概要）

全ての人々にフィナンシャル・リテラシーを。この理念を実現することが我々の目的です。そのためにも、しっかりとした経済的な基盤を気付き、継続的な活動を可能にしていかなければなりません。金融経済教育の分野において、金融経済教育団体としての知名度を高めること、そして事業収益の確保、この二点が急務となっております。高校生向けの金融経済教育イベントの「エコノミクス甲子園」や小・中学生向けの「キッズ・マーケット・キャンプ」など、金融経済教育の分野において、これまで一定の実績を上げることができております。これまでの実績をより拡大し、そして自発的に活動する金融知力インストラクターを多数擁する団体としての地歩を固めることが、中期的な協会の目標です。

2012 年度は、協会コンテンツの営業力を強化すると同時に、新たなコンテンツの開発・販売にも取り組み、収益事業につなげてまいりたいと思います。

2011 年度の事業の経過を総括いたしますと、エコノミクス甲子園などのイベントでは

成功を収めることができ、知名度を上げることはできました。反面、通信教育講座、講師派遣などでの販売が低調で、財政的には約 1000 万円の赤字となりました。2010 年度は 1500 万円、2009 年は 1900 万円の赤字で有り、長期にわたり厳しい状況が続いておりますが、傾向としては良い方向に向かっているといえます。

「8 歳からのお給料袋」セミナーの実施：「おこづかいのあげ方を通じて金銭教育について学んでもらう」ことをテーマにした書籍『8 歳からのお給料袋』が 2010 年度中に出版されていますが、この本に関連したセミナーを金融教育フェスティバル（金融広報中央委員会主催）などで実施しております。

スマートフォンアプリの開発：貯金を促進するアンドロイドアプリを開発し配布いたしました。新聞にも取り上げられ、928 名のユーザーを獲得しました。

エコノミクス甲子園：前回から 2 大会増の 25 都道府県で地方大会を開催いたしました。また、目標としておりました 1,200 名の参加を達成し、全国 244 校の学校から応募がありました。参加者数が 100 名を超える地方大会もあり、各地方での認知度も高まっております。メディア上での注目度も高く、多くの新聞・テレビ・雑誌に取り上げられました。

2011年度の主要事業の概要、主なトピックは以下のとおりです。

I-1. 金融知力普及啓蒙事業

①川口市子ども経済塾に協力

8月17日～19日の3日間、川口市の主催する「子ども経済塾」を実施いたしました。本イベントは今回で7年目となります。小学6年生の生徒35人を対象に、ライフプランやお金の管理のしかたなどの金融知力学習の実施や、地場の産業、銀行等の見学をおこないました。また今回は震災と経済というテーマで、震災で日本経済がどのような影響を受けたのかを解説する授業も行いました。

②第6回エコノミクス甲子園を開催

1月22日 東京国際交流館「プラザ平成」にて第6回エコノミクス甲子園の全国大会を開催いたしました。全国25会場で開催された地方大会を勝ち抜いた代表チームが熱戦を繰り広げ、奈良大会代表の東大寺学園チームが優勝をいたしました。優勝商品として3月にNY研修旅行を実施しております。

第6回大会は全国で647チーム1,294名の高校生達が参加をいたしました。

③スマートフォン向けアプリの開発

貯金をリマインドするスマートフォン向けアプリとして「女子大生貯金」を開発いたしました。給料日になるとスマートフォン上に貯金するように促すメッセージと画像が表示されるという内容で、スマートフォンユーザーの若者をターゲットにしております。一般向けに無料で公開し、928件程度ダウンロードされております。

④金融知力インストラクター対象のフォローアップセミナー実施

インストラクター向けの施策「フォローアップセミナー」を10月29日（土）に実施いたしました。セミナーの目的は、「インストラクターのスキル向上」、「仮認定インストラクターの正式認定」、「資格更新機会の提供」となっております。座学での受講に加え、DVD受講もできるようにし、全国から38名のインストラクターが受講いたしました。今後も定期的にフォローアップセミナーを実施してまいります。

⑤震災被災者向けホームページの作成

3月の震災後、協会ウェブサイト上に被災者向けの情報をまとめたページを作成し、公開いたしました。様々な機関が実施した金融的な支援、減免策をまとめて紹介をいたしております。

I-2. 金融知力教育事業

①通信教育

2011年度の通信講座受講者数は以下のとおりです。

新版通信講座	新規受講者数	昨年度	累計受講者数
ベーシック コース	121名	151名	879名
アドバンスド コース	41名	51名	639名
合計	162名	202名	1,518名

震災などの影響もあり販売数は依然低落傾向です。基本的にはコストをかけず現状維持を目標とします。

③セミナー・研修

2011年度に当協会が主催、受託、講師派遣した主な研修と受講者数は以下の通りです。

研修・セミナー	参加人数
【高島屋】 高島屋商い塾	42人
【川口市】 子ども経済塾	35人
【NTT ドコモ東北】 ライフデザイン研修	18人
【高島屋】 社会知識研修	42人
【NTT ドコモ】 ライフデザイン研修	131人
【NTT ドコモ中央グループ】 ライフデザイン研修	37人
【NTT ドコモ北海道】 ライフデザイン研修	10人
【ジブラルタ生命】 インストラクター向け研修	10人
【名護商工高校】 教員向けミドル研修	2人

I-3. その他特記事項

①寄付金

個人として金子昌資氏より 200 万円の寄付があり、エコノミクス甲子園寄付金収入に繰り入れられております。

エコノミクス甲子園の開催の為、プルデンシャル ジブラルタ ファイナンシャル生命保険株式会社様より 500 万円のご寄付、ラッセル・インベストメント・グループ様より 30 万円のご寄付、シティ財団様より約 248 万円 (3 万 2 千ドル) のご寄付をいただきました。プルデンシャル ジブラルタ ファイナンシャル生命の協賛をいただいたこと、シティ財団の寄付額が増額されたことにより、昨年と比べ寄付の総額は約 537 万円増となっております。

Ⅱ. 財務の状況

2011年度の収支の状況は別紙のとおりとなっています。協会では例年公認会計士に監査を委託しており、引き続き財務会計の公正性、透明性を高めてまいります。

下記、公認会計士より

- ・ 事業収益は合計で、33,455千円から34,999千円へと増大しています。
- ・ 個別的には、エコノミクス甲子園に係る収入以外は減少しています。
- ・ 事業収益原価は合計で23,944千円から21,737千円へと減少しています。
- ・ 両者の影響で、事業総利益は増加しています。エコノミクス関係の努力と原価節減で事業総利益が増価しているということになります。
- ・ 管理費について、合計は24,847千円から22,341千円へと減少しています。増えた項目で目立つのは消耗品だけです。あとの項目は減少しています。
- ・ 事業損益は-15,336千円から-9,079千円へと、-が減っています。
- ・ 事業全体の赤字体質が改善される方向にあるという数字になっています。

以上